

## イブプロフェンの分析

## Analysis of Ibuprofen

イブプロフェンは頭痛薬や風邪薬などの市販薬に多く配合されている解熱・鎮痛・抗炎症成分で、最近ではアルツハイマー病の症状を軽減、予防に有効であるとの説が広がり関心を集めているプロピオン酸系の酸性化合物です。今回はそのイブプロフェンとともに風邪薬などに多く配合されているカフェイン、エテンザミドを合わせて分析を行いました。カラムには **L-column ODS** と **L-column C8** を使用し、カラムによる分離特性の違いにも注目しました。

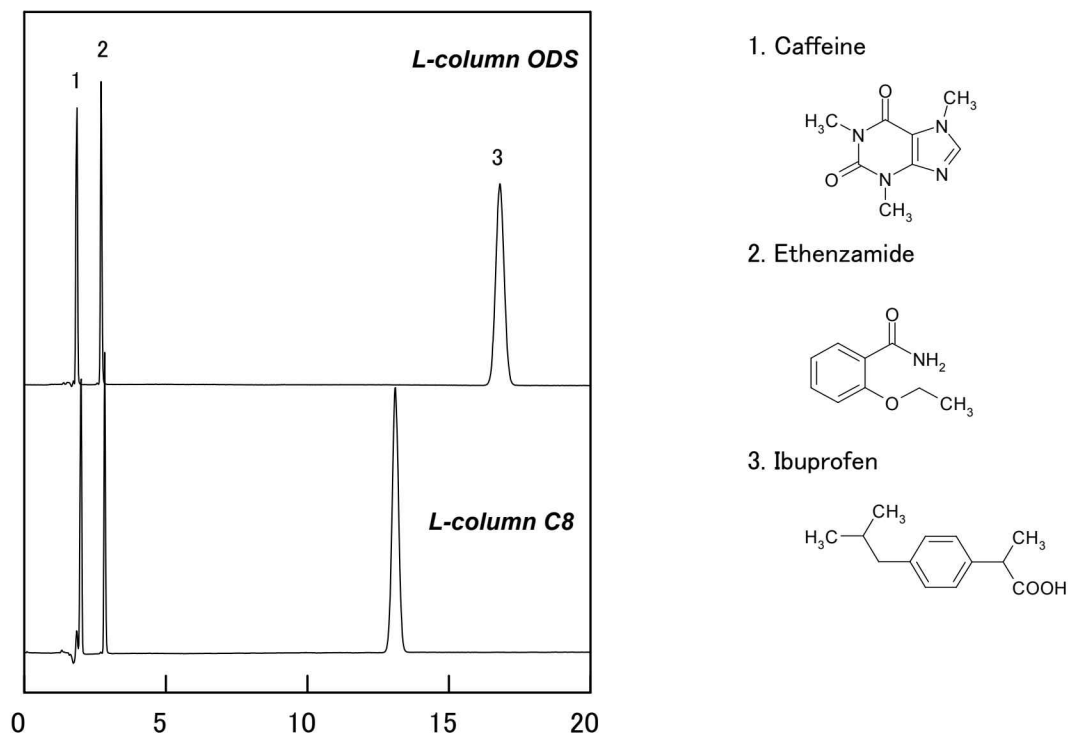


Fig. Chromatogram of Ibuprofen.

### 【Analytical conditions】

Column:	<b>L-column ODS</b> (C18, 5 μm, 12 nm), 4.6 mm I.D. × 150 mm L. <b>L-column C8</b> (C8, 5 μm, 12 nm), 4.6 mm I.D. × 150 mm L.
Mobile phase:	CH <sub>3</sub> CN/20 mM H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> (45/55)
Flow rate:	1 mL/min
Temperature:	40°C
Detection:	UV 230 nm
Injection volume:	1 μL
System:	-